



2008 今昔館展示模型



2007 西武庫団地リフォーム



2006 N氏の山荘建設



2004 琵琶湖別荘建設



2003 香住古民家移築



2002 大飯古民家移築



2000 朽木研修所離れ

美杉山荘 建設プロジェクト

墨付・キザミ (土台)

基礎が完成し、いよいよ軸組みの加工が始まりました。軸組みは、下から土台・柱・桁・梁・小屋束・棟木母屋で構成されます。加工に先立ち、間竿と呼ばれる水平・垂直方向の基準となる目盛りを付けた、3cm角の長い定規を作ります。全ての部材は、この間竿を当てて墨付け(加工のための下書き)されます。いちいち巻尺で計るよりも、早く正確に作業するための知恵です。土台は、桧の丸太を2面製材した、タイコと呼ばれる厚み 120mmの部材で、普段の実習で加工する材よりも大きく硬く、学生たちには歯ごたえのある相手となります。



作業の前に、仮設の屋根をかけて、日差しや雨を防ぎます。作業環境を整える事は、安全に正確な仕事を進める上で重要です。積み上げられた材がタイコ挽きされた土台です。



間竿、差金、墨壺などを駆使して、番図をニラミながらの墨付け作業。ここでのミスはそのまま加工の失敗につながりますので慎重にならざるを得ません



合間に板丸太の皮むきをする、技能1年の八木君と久保田君